

教員会議（2008回）議事要録

日 時：令和2年10月14日（水）13時30分～17時05分

場 所：L-2教室

※教員会議開始前にコンプライアンス教育（教育研究費不正防止）研修が開催された。

※教員会議開始前に学類・研究科FD推進会議が開催された。

【確認事項】

「教員会議第2006回、研究科委員会第542回（案）」、

「教員会議第2007回、研究科委員会第543回（案）」について、確認された。

◆教員会議◆

【審議事項】

1. 人事について：

(1) 今後の人事計画について

学類長から、教員会議第2005回で認められた人事計画に係るポイント数のカウントに誤りがあった旨説明があり、謝罪があった。

引き続き、人事計画の見直しを依頼していた専攻等から出された計画を受け、専任講師2名分（中村（民）、太田）、特任教員A8名分（中田（ス）、菅家、鈴木（裕）、高橋（正）、大関、浜島、耕田、片寄）の採用人事を進めたい旨説明提案があり、承認された。

なお、今回の人事計画が教育研究院会議から戻された場合でも、年度内に再提出することとした旨、補足があった。

また、教員会議第2005回で認められた残りの特任教員A2名分（工藤、齋藤（幸））については、取り消しではなく延期とする旨提案があり、承認された。

(2) 特任教員の任用について（資1）（調査委員会設置の発議）《投票》

《地域文化創造専攻（領域B、保育内容分野）》

当該領域の原野教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明の後、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から原野、当該領域から保木井、当該領域以外の領域から杉田、角間の各教員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、高橋（純）教員を選出することとなった。

2. 人事委：

(1) 学類長候補適任者選挙管理委員会委員の選出について《投票》

学類長から、従来の確認事項（被選挙権者から教授を除き、連続三期となる者を除く）について説明があった後、投票が行われ、開票の結果、鍵和田、平中、阿内の各教員が選出され、承認された。

3. 教務委：

(1) コース専門プログラムの変更について（資2）

杉浦委員長から、標記について資料に基づき変更点について説明提案があり、承認された。

4. 入試委：

(1) 令和3年度人間発達文化学類一般選抜にかかわる追試験の合否判定基準（案）について（資3）

森本委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

5. 将来計画検討委：

(1) 教科教育への教科専門教員協力体制構築について（資4）

小川委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、課程認定との関係、全学教職体制との関係、教科教育2名体制の見直しはまだ早いのではないかと、等の意見があり、意見交換の結果、コース毎に意見をとりまとめ10月末までに委員会へ提出することとし、継続審議とした。

【報告事項】

1. 教育研究評議会：第342回(10/6) 資料：「教職員専用総合案内を参照」

(審議事項)

(1) 大学院の改革について

(報告事項)

(1) 福島県内における文化財に係る災害時の応援活動支援に関する協定の締結について

(2) 「学長特別顧問及び学長参与の設置について」の一部改正について

(3) 学長プランについて

(4) 令和2年度科学研究費助成事業採択状況について

(5) 福島大学といわき市の連携・協力に関する協定の締結について

(6) 令和3年度概算要求額の伝達等について

2-1. 運営会議：第146回(9/29) 資料：「教職員専用総合案内を参照」

(1) 学類教員への教育研究業績管理システム入力のお願について

(2) 令和2年度ホームカミングデーの開催形態について

(3) 福島大学基金(旧リノベーション基金)の支出について

(4) 環境報告書2020(案)について

(5) その他

①電気・ガス・水道使用量について(8月分)

2-2. 運営会議：第147回(10/13) 資料：「教職員専用総合案内を参照」

(1) 大学院の改革について

(2) 勤務時間申告書の提出について

(3) 「教育職員の勤勉手当について」の一部改正について

(4) 教員向け就職状況説明会の開催について

(5) その他

①給与明細書の配布方法について

②電気・ガス・水道使用量について(9月分)

3. 危機対策本部会議

学類長から、第37・38回の会議内容について説明報告があった。

4. 入試委：

(1) 令和3年度追試験等の申し合わせについて(資5)

森本委員長から、標記について資料に基づき報告があり、了承された。

5. 研究教育支援委：

(1) 講師等経費について(資6)

松下委員長から、標記について資料に基づき報告があった。

6. 教務委：

(1) 非常勤講師計画作成要領の見直しについて(資7)

杉浦委員長から、標記について資料に基づき報告があり、現在全学教務協議会において、改定作業を実施しており、改定案が提示されたので、意見を10月19日まで募る旨の報告があった。

7. 学類長：

(1) 令和3年度研究専念期間制度適用者の募集結果について

学類長から、標記について9月末まで申請を受け付けていたところ、生島教員から申請（R3.4.1～9.30）があり、人事委員会で審議・承認した旨の報告があった。

(2) 令和3年度外地派遣研究員の募集結果について

学類長から、標記について9月末まで申請を受け付けていたが、応募者がなかった旨報告があり、現在のコロナ禍の中で、今年度は計画が実行されておらず弾力的運用を認めることとしており、来年度についても弾力的運用が認められる可能性があるため、改めて募集することとし、メ切を10月末まで延期する旨の報告があった。

(アナウンス)

①2021年度のアドバイザー教員の選出依頼について（学生生活委）

標記について、選出願いたい旨のアナウンスがあった。

②学生生活実態調査について（資8）（学生生活委）

標記について、資料に基づきアナウンスがあった。

③令和3年度大学入学共通テスト警備要員募集について（資9）（入試委）

標記について、資料に基づきアナウンスがあった。

④授業の欠席について（新型コロナウイルス関連）（教務委）

標記について、風邪症状などにより、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合には、医師の診断書等がなくても欠席の申請が行えるので、学生に周知願いたい旨のアナウンスがあった。

⑤授業などで一度に大人数で図書館を利用する際の協力依頼について（図書館運営委）

標記について、留意点4点（来館の日時と人数を前日までに知らせる、職員証・学生証の持参、感染対策の実施、セミナールームでの実施等の検討）のアナウンスがあった。

次回の教員会議は、令和2年10月28日（水）12：10～（判定：大学院）開催することとした。